

この冬休みに１０年ぶりにハワイに行ってきました！

飛行機で約８時間もかかってちょっと疲れました！

疲れるならやだなーと思ったあなたにニュースです



　ドイツの学者（　　ウェゲナー　　）は1915年に「大陸移動説」

（プレートテクトニクス）を発表した。彼は現在の海岸線の形や山脈

南アメリカと

アフリカの

出っ張りが

とっても気に

なるんだな～

の配列、南アメリカとアフリカに見られる地層や化石の共通点から

「現在の６大陸がもともとはひとつの大きな大陸だった」と考えた。

彼はその巨大な大陸に（　　パンゲア　　）という名前をつけた。

しかし、彼は大陸が動く理由を説明できなかったため、しばらく

忘れ去られてしまいました。その後、この説は1960～1970年代

に入ってから再び脚光を浴び、地球の表面は（　　プレート　　）

とよばれる岩石の厚い板でおおわれていて、このプレートの動きに

よって大陸が移動するという説、（　　プレートテクトニクス説　）

が証明され、その原動力は地球内部に秘密があるらしいということ

ウェゲナー

がわかっている。

手元にある画用紙（大陸を表現している）を使ってパンゲアを作ってみよう！

ちょっと頭の体操みたいな感じでいいかもよ！うまくできたら頭もスッキリ！

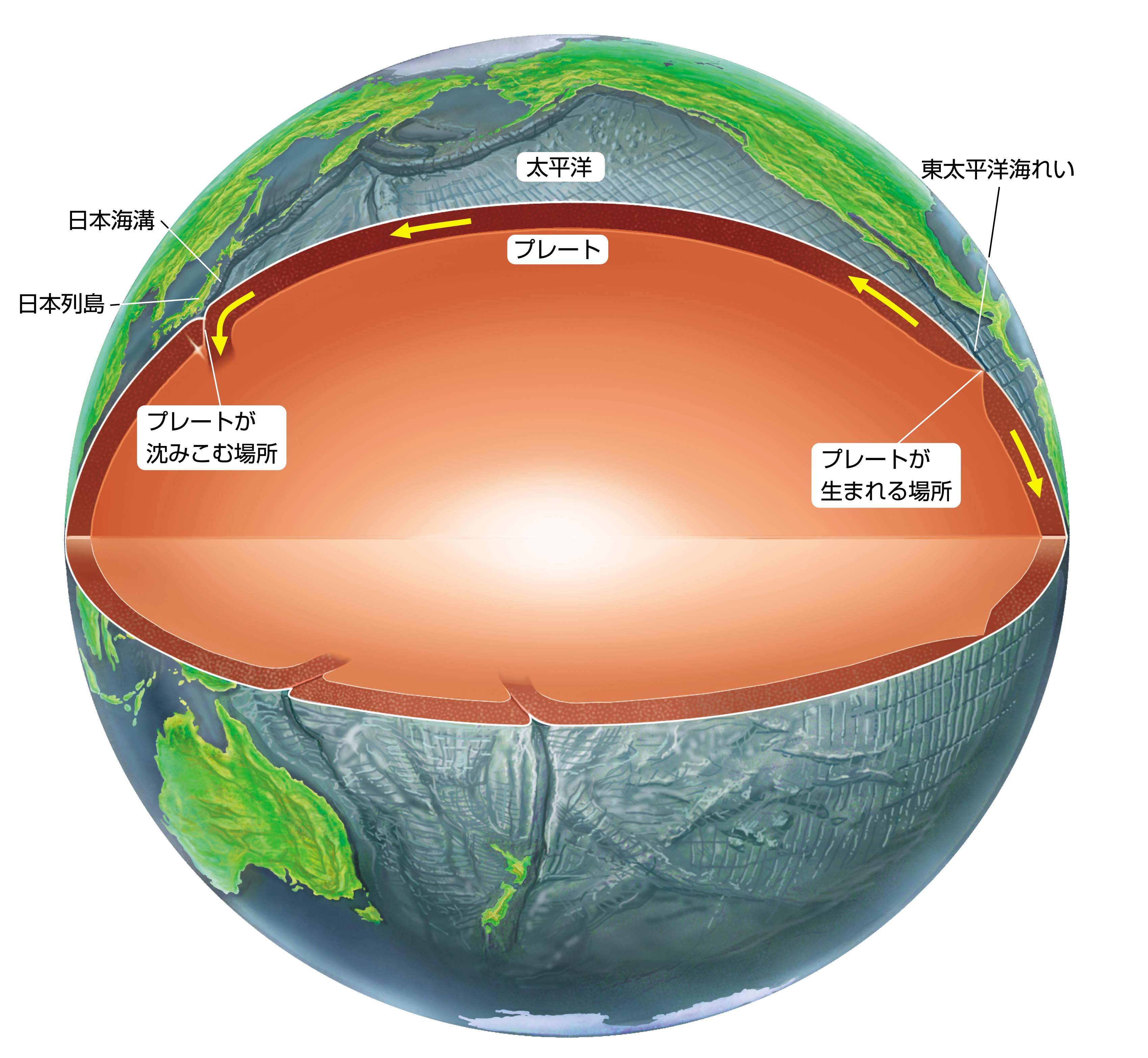
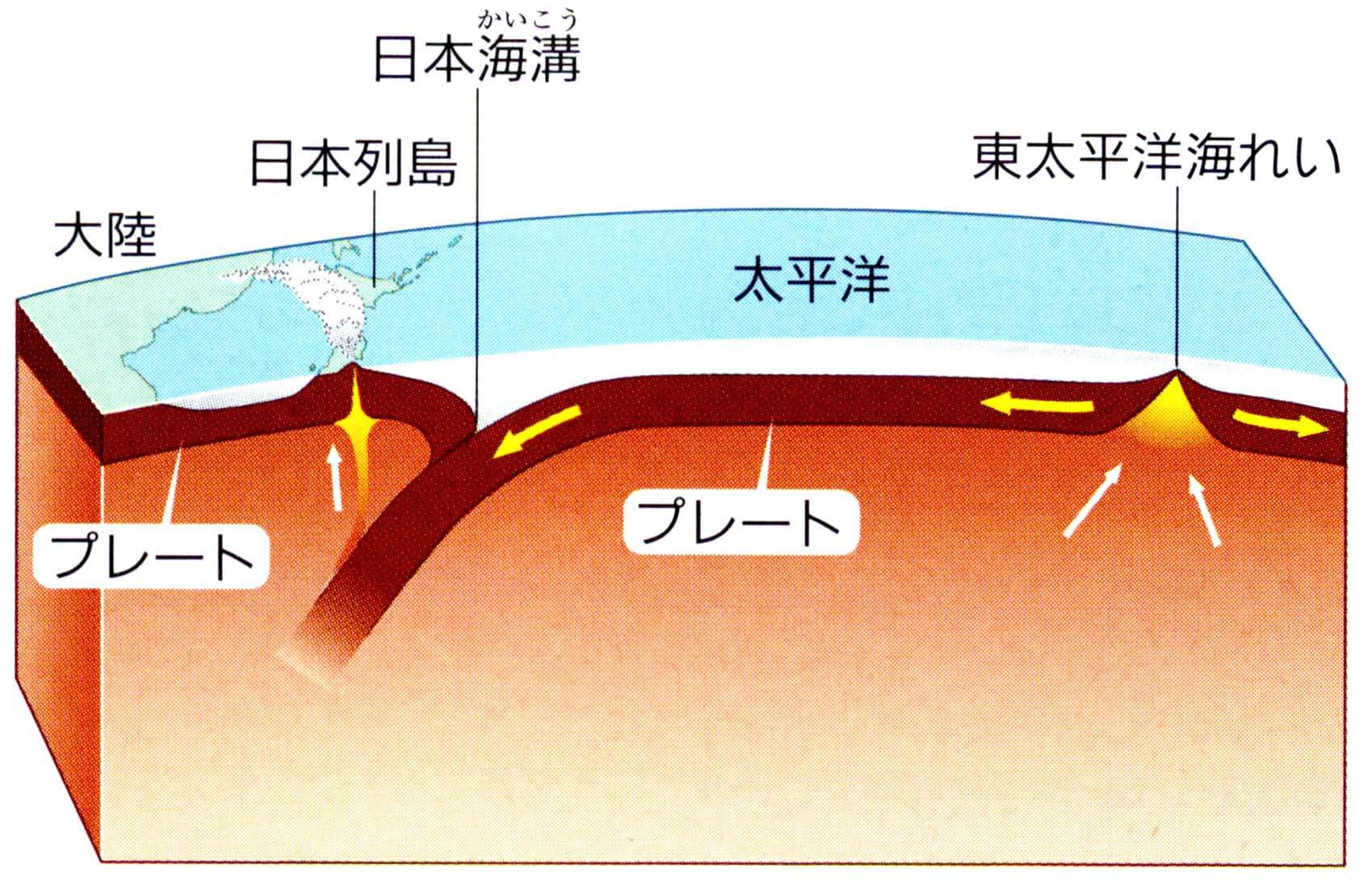
1. まずは現在の世界地図を作ってみよう！
2. ウェゲナーさんの使っていた世界地図をゆっくり動かそう！大陸はひっくり返ったりしない。
3. （　　アフリカ　　）大陸と（　　南アメリカ　　）大陸はくっつきます。
4. （　　アフリカ大陸　　）はほとんどの大陸とくっつきます。

　⑤　あとは想像力と気合いと根性です。なかまと力を合わせてがんばれ～っ！

　下の地球の内部の構造の絵（左）を見てください。基本的に地球は生卵みたいな構造をしています。

ドロドロ？の中身（　　マントル・核　）が殻のような（　　地殻・プレート　）でおおわれています。

しかもこの殻（　　地殻・プレート　　）はちょっとずつ（１年で数ｃｍ）動いているのです。



　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　上の図は日本とハワイ周辺の拡大図です。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　海の中にも山脈と谷があります。

海の山脈（　　海れい　　）では新しくプレートが生まれてきます。

海の谷（　　海溝　　）ではプレートが沈み込んでいきます。

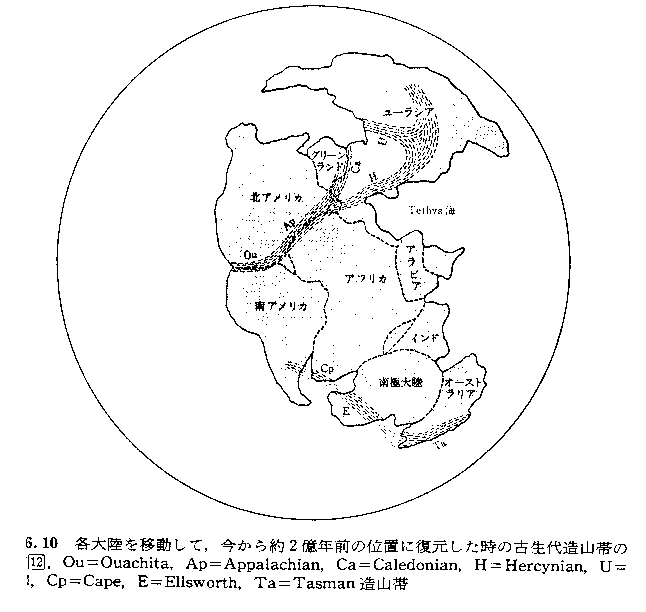
日本付近では（　　日本海溝　　）で（　　ひずみ　　）が生まれ、地震が起こりやすいのです。

　　１年　　組　　番　氏名

約２億年前の

巨大大陸

パンゲアの図



南アメリカと

アフリカの

出っ張りが

とっても気に

なるんだな～

ウェゲナー

